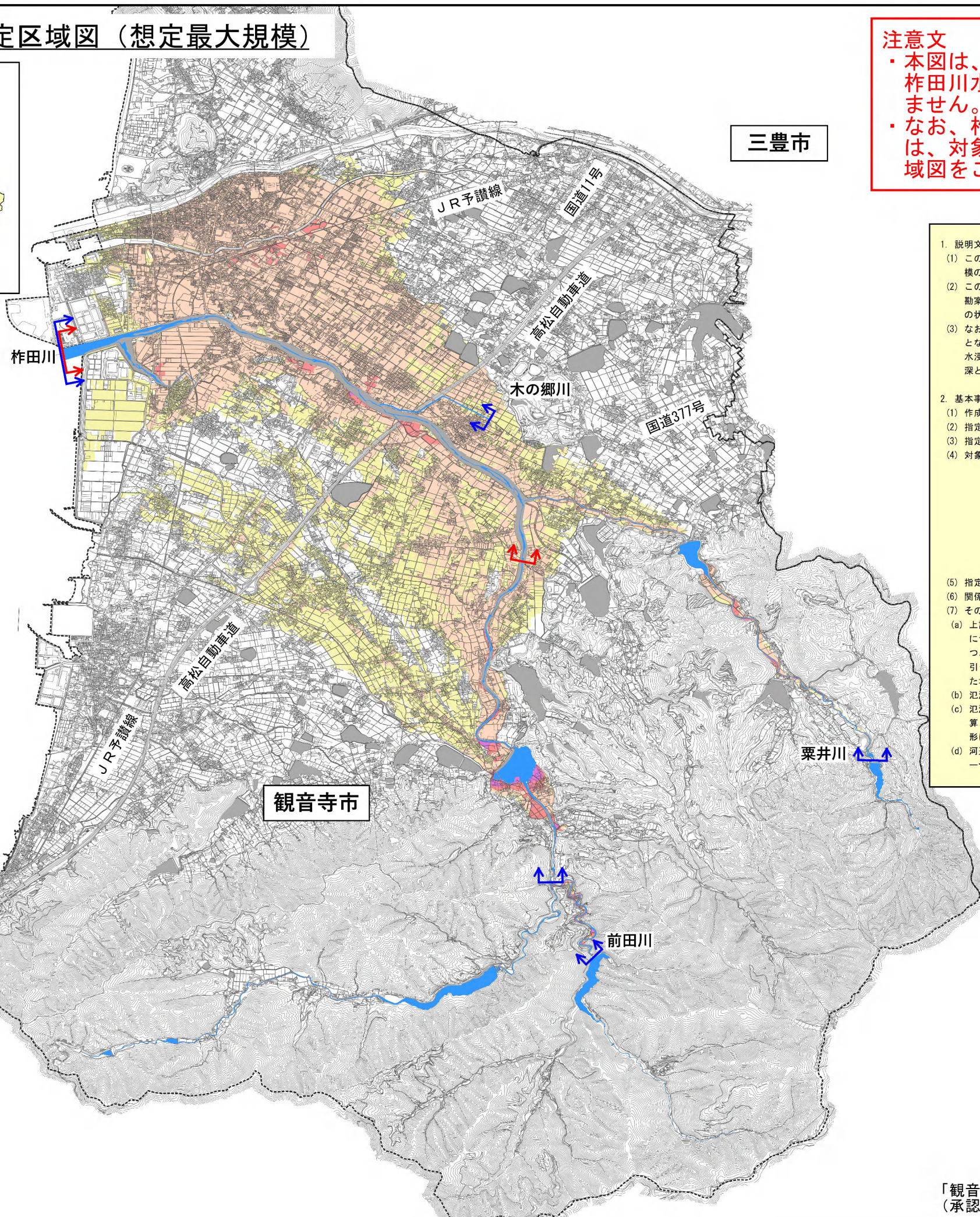
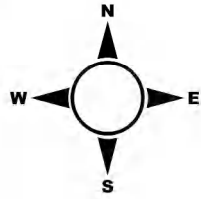


柞田川水系 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

位置図



注意文

- ・本図は、柞田川水系の洪水浸水想定区域図であり、柞田川水系以外の河川からの氾濫は反映されておりません。
- ・なお、柞田川水系以外の洪水浸水想定区域については、対象水系又は河川毎に作成した洪水浸水想定区域図をご覧ください。

1. 説明文

- (1) この図は、下記 2. (4)に記載する河川の区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の下記 2. (4)に記載する河川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により下記 2. (4)に記載する河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 香川県土木部河川砂防課
- (2) 指定年月日 令和 5 年 3 月 31 日
- (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和 24 年法律第 193 号)第 14 条第 2 項
- (4) 対象となる河川

| 水系名 | 河川名 | 実施区間 |
|-------|------|--|
| 柞田川水系 | 柞田川 | 左岸：観音寺市大野原町内野々乙 171 番 11 地先から海まで 右岸：観音寺市大野原町内野々乙 43 番 2 地先から海まで |
| | 栗井川 | 左岸：観音寺市栗井町坂瀬 4658 番 5 地先から柞田川合流点まで 右岸：観音寺市栗井町坂瀬 4650 番 8 地先から柞田川合流点まで |
| | 前田川 | 左岸：観音寺市大野原町有木乙 55 番 1 地先から柞田川合流点まで 右岸：観音寺市大野原町有木乙 49 番 1 地先から柞田川合流点まで |
| | 木の郷川 | 左岸：観音寺市木の郷町宇田元丸 250 番 3 地先から柞田川合流点まで 右岸：観音寺市木の郷町宇田元丸 250 番 3 地先から柞田川合流点まで |

- (5) 指定の前提となる降雨 柞田川流域の 24 時間の総雨量 741mm
- (6) 関係市町 観音寺市
- (7) その他計算条件等
 - 上記 2. (4)に記載した河川の中で、柞田川・栗井川・前田川（ダム下流河川）を除く県が管理する区間について、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第 4 版）」（平成 27 年 7 月）の作成手法を基本としつつ、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和 2 年 6 月）、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き（第 2 版）」（平成 28 年 3 月）を取り入れ、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示しています。
 - 氾濫解析では、ポンプ場・樋門等による内水処理の効果は考慮していません。
 - 氾濫区域を 10m 格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - 河道の形状は、現地確認や簡易測量等により取得したデータ、令和元年～令和 2 年に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があります。

凡例

- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 5.0m以上の区域
 - 3.0m～5.0m未満の区域
 - 0.5m～3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- 市町界
- 水位周知区間
- 当浸水想定区域の対象区間



「観音寺市の承認を得て同市の都市計画図を複製したものである。」
(承認番号) 令和4年7月8日 4 観都第97号